

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-181579

(P2018-181579A)

(43) 公開日 平成30年11月15日(2018.11.15)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
H05B 33/04 (2006.01)	H05B 33/04	3K107
G09F 9/30 (2006.01)	G09F 9/30 349Z	5C094
H01L 51/50 (2006.01)	H05B 33/14 A	
H01L 27/32 (2006.01)	H01L 27/32	
G06F 3/041 (2006.01)	G06F 3/041 410	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2017-78826 (P2017-78826)
 (22) 出願日 平成29年4月12日 (2017.4.12)

(71) 出願人 502356528
 株式会社ジャパンディスプレイ
 東京都港区西新橋三丁目7番1号
 (74) 代理人 110000154
 特許業務法人はるか国際特許事務所
 (72) 発明者 小亀 平章
 東京都港区西新橋三丁目7番1号 株式会
 社ジャパンディスプレイ内
 (72) 発明者 神谷 哲仙
 東京都港区西新橋三丁目7番1号 株式会
 社ジャパンディスプレイ内
 Fターム(参考) 3K107 AA01 BB01 CC23 CC45 EE48
 EE49 EE50 EE61 FF04 FF06
 5C094 AA21 BA03 BA27 CA19 DA07
 DA13 EA05 FB12 FB15 FB18

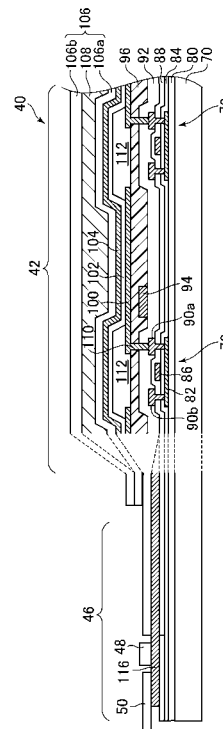
(54) 【発明の名称】 有機EL表示装置

(57) 【要約】

【課題】有機EL表示装置において、電磁ノイズによる悪影響をより確実に抑制する。

【解決手段】有機EL表示装置であって、有機材料層を含む画素を含む表示領域が形成された基板と、前記表示領域を覆う封止層とを有する表示パネルを備え、前記封止層が導電層を含む。

【選択図】 図3



- 【特許請求の範囲】
- 【請求項 1】
有機材料層を含む画素を含む表示領域が形成された基板と、前記表示領域を覆う封止層とを有する表示パネルを備え、
前記封止層が導電層を含む、
有機 E L 表示装置。
- 【請求項 2】
前記表示パネルの前記封止層側にタッチパネルが配置される、請求項 1 に記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 3】
前記導電層のシート抵抗が 5 0 0 / 以下である、請求項 1 または 2 に記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 4】
前記導電層の可視光透過率が 5 0 % 以上である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 5】
前記封止層が絶縁材料膜を含む、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 6】
前記封止層が、第 1 の絶縁材料膜、前記導電層および第 2 の絶縁材料膜をこの順で含む、請求項 5 に記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 7】
前記導電層がバインダー樹脂および導電性材料を含む、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の有機 E L 表示装置。
- 【請求項 8】
前記導電性材料がナノワイヤおよび/またはナノチューブである、請求項 7 に記載の有機 E L 表示装置。
- 【発明の詳細な説明】
- 【技術分野】
- 【0 0 0 1】
本発明は、有機 E L 表示装置に関する。
- 【背景技術】
- 【0 0 0 2】
有機エレクトロルミネッセンス (E L) 表示装置は、基板上に薄膜トランジスタ (T F T) や有機発光ダイオード (O L E D) などが形成された表示パネルを有する。このような表示パネルは電磁ノイズを発生し、例えば、付加されたタッチパネルの誤作動を引き起こす場合がある。このような問題に対し、例えば、下記特許文献 1 では、タッチパネル部の基板や表示パネル部の基板に I T O 膜を形成することが提案されている。
- 【先行技術文献】
- 【特許文献】
- 【0 0 0 3】
【特許文献 1】特開 2 0 0 3 - 9 9 1 9 3 号公報
- 【発明の概要】
- 【発明が解決しようとする課題】
- 【0 0 0 4】
しかし、電磁ノイズによる悪影響をより確実に抑制することが望まれている。
- 【0 0 0 5】
本発明は、上記に鑑み、電磁ノイズによる悪影響をより確実に抑制し得る有機 E L 表示装置の提供を目的とする。
- 【課題を解決するための手段】

10

20

30

40

50

【0006】

本発明の有機EL表示装置は、有機材料層を含む画素を含む表示領域が形成された基板と、前記表示領域を覆う封止層とを有する表示パネルを備え、前記封止層が導電層を含む。

【0007】

1つの実施形態においては、上記表示パネルの上記封止層側にタッチパネルが配置される。

【0008】

1つの実施形態においては、上記導電層のシート抵抗が500 / 以下である。

【0009】

1つの実施形態においては、上記導電層の可視光透過率が50%以上である。

【0010】

1つの実施形態においては、上記封止層が絶縁材料膜を含む。

【0011】

1つの実施形態においては、上記封止層は、第1の絶縁材料膜、上記導電層および第2の絶縁材料膜をこの順で含む。

【0012】

1つの実施形態においては、上記導電層はバインダー樹脂および導電性材料を含む。

【0013】

1つの実施形態においては、上記導電性材料はナノワイヤおよび/またはナノチューブである。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】本発明の実施形態に係る有機EL表示装置の概略の構成を示す模式図である。

【図2】図1に示す有機EL表示装置の表示パネルの一例を示す模式的な平面図である。

【図3】図2のIII-III断面の一例を示す図である。

【図4】図2に示す表示パネル上にタッチパネルが配置された状態の一例を示す概略図断面である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、本発明の実施形態について、図面を参照しつつ説明する。なお、図面については、同一又は同等の要素には同一の符号を付し、重複する説明は省略することがある。

【0016】

図1は、本発明の実施形態に係る有機EL表示装置の概略の構成を示す模式図である。有機EL表示装置2は、画像を表示する画素アレイ部4と、画素アレイ部4を駆動する駆動部とを備える。有機EL表示装置2は、基板上にTFTやOLEDなどの積層構造が形成された表示パネルを有する。なお、図1に示した概略図は一例であって、本実施形態はこれに限定されるものではない。

【0017】

画素アレイ部4には、画素に対応してOLED6および画素回路8がマトリクス状に配置される。画素回路8は複数のTFT10, 12やキャパシタ14で構成される。

【0018】

上記駆動部は、走査線駆動回路20、映像線駆動回路22、駆動電源回路24および制御装置26を含み、画素回路8を駆動しOLED6の発光を制御する。

【0019】

走査線駆動回路20は、画素の水平方向の並び（画素行）ごとに設けられた走査信号線28に接続されている。走査線駆動回路20は、制御装置26から入力されるタイミング信号に応じて走査信号線28を順番に選択し、選択した走査信号線28に、点灯TFT10をオンする電圧を印加する。

【0020】

10

20

30

40

50

映像線駆動回路 22 は、画素の垂直方向の並び（画素列）ごとに設けられた映像信号線 30 に接続されている。映像線駆動回路 22 は、制御装置 26 から映像信号を入力され、走査線駆動回路 20 による走査信号線 28 の選択に合わせて、選択された画素行の映像信号に応じた電圧を各映像信号線 30 に出力する。当該電圧は、選択された画素行にて点灯 TFT 10 を介してキャパシタ 14 に書き込まれる。駆動 TFT 12 は、書き込まれた電圧に応じた電流を OLED 6 に供給し、これにより、選択された走査信号線 28 に対応する画素の OLED 6 が発光する。

【0021】

駆動電源回路 24 は、画素列ごとに設けられた駆動電源線 32 に接続され、駆動電源線 32 および選択された画素行の駆動 TFT 12 を介して OLED 6 に電流を供給する。

10

【0022】

ここで、OLED 6 の下部電極は、駆動 TFT 12 に接続される。一方、各 OLED 6 の上部電極は、全画素の OLED 6 に共通の電極で構成される。下部電極を陽極（アノード）として構成する場合は、高電位が入力され、上部電極は陰極（カソード）となって低電位が入力される。下部電極を陰極（カソード）として構成する場合は、低電位が入力され、上部電極は陽極（アノード）となって高電位が入力される。

【0023】

図 2 は、図 1 に示す有機 EL 表示装置の表示パネルの一例を示す模式的な平面図である。表示パネル 40 の表示領域 42 に、図 1 に示した画素アレイ部 4 が設けられ、上述したように画素アレイ部 4 には OLED が配列される。上述したように OLED 6 を構成する上部電極 44 は、各画素に共通に形成され、表示領域 42 全体を覆う。

20

【0024】

矩形である表示パネル 40 の一辺には、部品実装領域 46 が設けられ、表示領域 42 につながる配線が配置される。部品実装領域 46 には、駆動部を構成するドライバ集積回路（IC）48 が搭載されたり、FPC 50 が接続されたりする。フレキシブルプリント基板（FPC）50 は、制御装置 26 やその他の回路 20, 22, 24 等に接続されたり、その上に IC を搭載されたりする。

【0025】

図 3 は、図 2 の III - III 断面の一例を示す図である。表示パネル 40 は、基板 70 の上に TFT 72 などからなる回路層、OLED 6 および OLED 6 を封止する封止層 106 などが積層された構造を有する。基板 70 は、例えば、ガラス板、ポリイミド樹脂等の樹脂フィルムで構成される。本実施形態においては、画素アレイ部 4 はトップエミッション型であり、OLED 6 で生じた光は、基板 70 側とは反対側（図 3 において上向き）に出射される。なお、有機 EL 表示装置 2 におけるカラー化方式をカラーフィルタ方式とする場合には、例えば、封止層 106 よりも上側に配置される。このカラーフィルタに、OLED 6 にて生成した白色光を通すことで、例えば、赤（R）、緑（G）、青（B）の光を作る。

30

【0026】

表示領域 42 の回路層には、上述した画素回路 8、走査信号線 28、映像信号線 30、駆動電源線 32 などが形成される。駆動部の少なくとも一部分は、基板 70 上に回路層として表示領域 42 に隣接する領域に形成することができる。上述したように、駆動部を構成するドライバ IC 48 や FPC 50 を、部品実装領域 46 にて、回路層の配線 116 に接続することができる。

40

【0027】

図 3 に示すように、基板 70 上には、無機絶縁材料で形成された下地層 80 が配置される。無機絶縁材料としては、例えば、窒化シリコン（SiN_y）、酸化シリコン（SiO_x）およびこれらの複合体が用いられる。

【0028】

表示領域 42 においては、下地層 80 を介して、基板 70 上には、トップゲート型の TFT 72 のチャンネル部およびソース・ドレイン部となる半導体領域 82 が形成される。半

50

導体領域 8 2 は、例えば、ポリシリコン (p - S i) で形成される。半導体領域 8 2 は、例えば、基板 7 0 上に半導体層 (p - S i 膜) を設け、この半導体層をパターンングし、回路層で用いる箇所を選択的に残すことにより形成される。T F T 7 2 のチャネル部の上には、ゲート絶縁膜 8 4 を介してゲート電極 8 6 が配置される。ゲート絶縁膜 8 4 は、代表的には、T E O S で形成される。ゲート電極 8 6 は、例えば、スパッタリング等で形成した金属膜をパターンングして形成される。ゲート電極 8 6 上には、ゲート電極 8 6 を覆うように層間絶縁層 8 8 が配置される。層間絶縁層 8 8 は、例えば、上記無機絶縁材料で形成される。T F T 7 2 のソース・ドレイン部となる半導体領域 8 2 (p - S i) には、イオン注入により不純物が導入され、さらにそれらに電氣的に接続されたソース電極 9 0 a およびドレイン電極 9 0 b が形成され、T F T 7 2 が構成される。

10

【 0 0 2 9 】

T F T 7 2 上には、層間絶縁膜 9 2 が配置される。層間絶縁膜 9 2 の表面には、配線 9 4 が配置される。配線 9 4 は、例えば、スパッタリング等で形成した金属膜をパターンングすることにより形成される。配線 9 4 を形成する金属膜と、ゲート電極 8 6、ソース電極 9 0 a およびドレイン電極 9 0 b の形成に用いた金属膜とで、例えば、配線 1 1 6 および図 1 に示した走査信号線 2 8、映像信号線 3 0、駆動電源線 3 2 を多層配線構造で形成することができる。この上に、例えば、アクリル系樹脂等の樹脂材料により平坦化膜 9 6 が形成され、表示領域 4 2 において、平坦化膜 9 6 上に O L E D 6 が形成される。

【 0 0 3 0 】

O L E D 6 は、下部電極 1 0 0、有機材料層 1 0 2 および上部電極 1 0 4 を含む。有機材料層 1 0 2 は、具体的には、正孔輸送層、発光層、電子輸送層等を含む。O L E D 6 は、代表的には、下部電極 1 0 0、有機材料層 1 0 2 および上部電極 1 0 4 を基板 7 0 側からこの順に積層して形成される。本実施形態では、下部電極 1 0 0 が O L E D の陽極 (アノード) であり、上部電極 1 0 4 が陰極 (カソード) である。

20

【 0 0 3 1 】

図 3 に示す T F T 7 2 が、n チャネルを有した駆動 T F T 1 2 であるとする、下部電極 1 0 0 は、T F T 7 2 のソース電極 9 0 a に接続される。具体的には、上述した平坦化膜 9 6 の形成後、下部電極 1 0 0 を T F T 7 2 に接続するためのコンタクトホール 1 1 0 が形成され、例えば、平坦化膜 9 6 表面およびコンタクトホール 1 1 0 内に形成した導電部をパターンングすることにより、T F T 7 2 に接続された下部電極 1 0 0 が画素ごとに形成される。

30

【 0 0 3 2 】

上記構造上には、画素を分離するバンク 1 1 2 が配置される。例えば、下部電極 1 0 0 の形成後、画素境界にバンク 1 1 2 を形成し、バンク 1 1 2 で囲まれた画素の有効領域 (下部電極 1 0 0 の露出する領域) に、有機材料層 1 0 2 および上部電極 1 0 4 が積層される。上部電極 1 0 4 は、代表的には、透明電極材料で形成される。

【 0 0 3 3 】

上部電極 1 0 4 上には、封止層 1 0 6 が配置される。封止層 1 0 6 は、例えば、O L E D 6 を水分等から保護する保護層として機能し得るため、表示領域 4 2 の全体を覆うように形成される。また、図示しないが、例えば、表示パネル 4 0 の表面の機械的な強度を確保するため、表示領域 4 2 の表面には保護層が配置され得る。この場合、部品実装領域 4 6 には、I C や F P C を接続し易くするため、通常、保護層を設けない。F P C 5 0 の配線やドライバ I C 4 8 の端子は、例えば、配線 1 1 6 に電氣的に接続される。

40

【 0 0 3 4 】

表示装置においてタッチパネルを搭載する際には、タッチパネルを表示パネルに外付けする構成 (アウトセル方式) と、表示パネルの外部 (例えば、表示パネルと表示パネルの外側に配置される偏光板との間) に設けて一体化する構成 (オンセル方式) と、表示パネルの内部に設ける構成 (インセル方式) とが知られている。本実施形態では、アウトセル方式もしくはオンセル方式が採用される。具体的には、図 4 に示すように、表示パネル 4 0 の封止層 1 0 6 上にタッチパネル 6 0 が配置され、この状態で、有機 E L 表示装置 2 の

50

筐体に格納される。なお、図4において、図3に示す表示パネル40の積層構造のうち、基板70上の封止層106を除く積層構造を上部構造層114として簡略化して示している。

【0035】

封止層106は、基板70側から、第1の封止層106a、導電層108および第2の封止層106bをこの順で含む。このように、封止層に導電層を含ませることで、電磁ノイズ発生源（表示部）により近い位置で電磁ノイズをシールドして、より確実に電磁ノイズによる悪影響を抑制することができる。例えば、タッチパネルの誤作動をより確実に抑制することができる。また、封止層の形成工程の際に導電層を形成することができ、製造効率の向上に寄与し得る。

10

【0036】

第1の封止層106aおよび第2の封止層106bは、それぞれ、例えば、化学気相成長（CVD）法によりSiNy等の無機絶縁材料膜を、例えば、厚み数 μm 程度に成膜することにより形成される。このような封止層中に導電層が挿入されることにより、導電層が他の部材に及ぼす悪影響を抑制し得る。導電層108は、表示領域42を被覆するように形成される。導電層108は、例えば、表示部（封止層106より下の構造層114）で発生する電磁ノイズのシールド効果を十分に得る観点から、そのシート抵抗が $500/\Omega$ 以下となるように形成されるのが好ましい。また、導電層108は、透明性を確保するように（例えば、可視光透過率が50%以上となるように）形成されることが好ましい。

20

【0037】

導電層108は、導電性材料を含む。導電性材料としては、例えば、銀、金、銅、ニッケル等の金属およびこれらの合金（例えば、Cu-Ni）、カーボン、酸化インジウムスズ（ITO）等の金属酸化物、導電性ポリマー等が用いられる。

【0038】

導電層108は、例えば、アクリル系樹脂等のバインダー樹脂および上記導電性材料を含む。この場合、導電層108の厚みは、例えば、 $10\mu\text{m} \sim 50\mu\text{m}$ である。バインダー樹脂と組み合わせる導電性材料としては、任意の適切な形態が採用され得るが、ナノワイヤ（代表的には、金属ナノワイヤ）および/またはナノチューブ（代表的には、カーボンナノチューブ）が好ましく用いられる。中でも、金属ナノワイヤが特に好ましく用いられる。例えば、上記導電性および透明性を良好に満足し得るからである。ここで、ナノワイヤとは、中実構造の繊維状で、径がナノメートルサイズの導電性物質をいい、ナノチューブとは、中空構造の繊維状で、径がナノメートルサイズの導電性物質をいう。これらの太さは、例えば $5\text{nm} \sim 500\text{nm}$ であり、好ましくは $5\text{nm} \sim 50\text{nm}$ である。これらの長さは、例えば $1\mu\text{m} \sim 1000\mu\text{m}$ であり、好ましくは $10\mu\text{m} \sim 1000\mu\text{m}$ である。導電層108は、例えば、バインダー樹脂と導電性材料を含む塗布物を第1の封止層106a上に塗布し（例えば、インクジェット方式により）、バインダー樹脂の種類に応じた後処理（例えば、熱硬化処理や光硬化処理）を適宜施すことにより形成される。導電層108は、封止層106の平坦化層としても機能し得る。

30

【0039】

本発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、種々の変形が可能である。例えば、上記実施形態で示した構成と実質的に同一の構成、同一の作用効果を奏する構成または同一の目的を達成することができる構成で置き換えることができる。具体的には、導電層108を、例えば、ITO膜で構成してもよい。

40

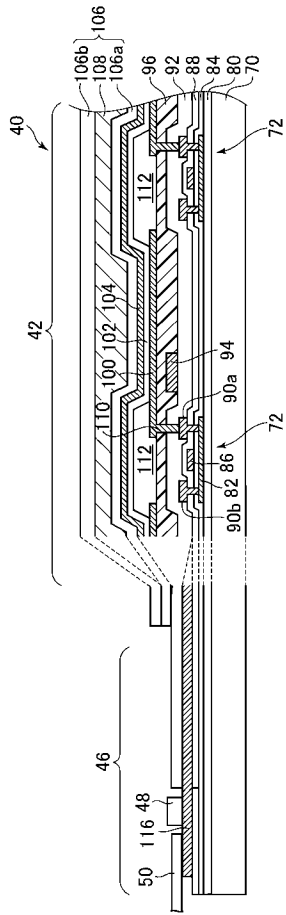
【符号の説明】

【0040】

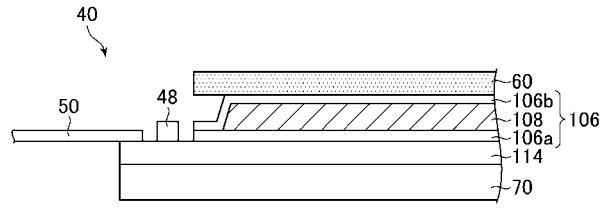
2 有機EL表示装置、4 画素アレイ部、6 OLED、8 画素回路、10 点灯TFT、12 駆動TFT、14 キャパシタ、20 走査線駆動回路、22 映像線駆動回路、24 駆動電源回路、26 制御装置、28 走査信号線、30 映像信号線、32 駆動電源線、40 表示パネル、42 表示領域、44 上部電極、46 部品実

50

【 図 3 】



【 図 4 】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.

F I

テーマコード(参考)

G 0 6 F	3/041	4 7 0
G 0 9 F	9/30	3 6 5
G 0 9 F	9/30	3 1 7

专利名称(译)	有机EL表示装置		
公开(公告)号	JP2018181579A	公开(公告)日	2018-11-15
申请号	JP2017078826	申请日	2017-04-12
[标]申请(专利权)人(译)	株式会社日本显示器		
申请(专利权)人(译)	有限公司日本显示器		
[标]发明人	小亀平章 神谷哲仙		
发明人	小亀平章 神谷哲仙		
IPC分类号	H05B33/04 G09F9/30 H01L51/50 H01L27/32 G06F3/041		
CPC分类号	G06F3/0412 G06F2203/04107 G09F9/30 H01L27/323 H01L51/5253 H01L2251/308 H01L2251/5315 H01L2251/5369 H01L27/32 H01L51/50 H05B33/02 H05B33/04 H05B33/22 G06F3/041 H01L27/3272		
FI分类号	H05B33/04 G09F9/30.349.Z H05B33/14.A H01L27/32 G06F3/041.410 G06F3/041.470 G09F9/30.365 G09F9/30.317		
F-TERM分类号	3K107/AA01 3K107/BB01 3K107/CC23 3K107/CC45 3K107/EE48 3K107/EE49 3K107/EE50 3K107/EE61 3K107/FF04 3K107/FF06 5C094/AA21 5C094/BA03 5C094/BA27 5C094/CA19 5C094/DA07 5C094/DA13 5C094/EA05 5C094/FB12 5C094/FB15 5C094/FB18		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：可靠地抑制有机EL显示装置中由于电磁噪声引起的不利影响。一种有机EL显示装置，包括：显示面板，包括：基板，在所述基板上形成包括包括有机材料层的像素的显示区域；以及密封层，用于覆盖所述显示区域，其中，所述密封层包括导电层。点域

